

1月10日(金) 午前10時よりチケット発売

文化亭 砂町

柳家

喬太郎独演会

ゲスト
林家一樂
(紙切り)



3/16 2025 (日)

開場13時30分
開演14時

江東区砂町文化センター研修室

ご予約・お問い合わせ ☎ 03-3640-1751

チケット WEB・電話・窓口で受付

*全席指定 ¥3,500

*ティアラ友の会¥3,200

*シニア(60歳以上)¥3,200

WEB申込はこちら



▼当日¥200増／6歳より入場可

▼「シニア割引」「受講生割引」は電話・窓口のみで受付。

▼クレジット決済後またはお支払い後の割引対応はできません。

▼お支払い後のキャンセル・ご返金はできません。

柳家喬太郎



1963年東京都生まれ。

1989年柳家さん喬に入門。

前座名は「さん坊」。

1993年二ツ目に昇進し「喬太郎」と改名。

2000年12人抜きで真打昇進。

2006年文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞（大衆芸能部門）を受賞。愛称は「キヨンキヨン」。

実力と幅広さを兼ね備えた独特の高座で人気を博す。「抜け雀」「井戸の茶碗」など師匠さん喬ゆずりの古典落語、「死神」「牡丹燈籠」といった三遊亭円朝作品をじっくり聴かせたかと思えば、自身の新作「ハンバーグができるまで」、「夜の慣用句」などで爆笑を誘う。



1967年埼玉県生まれ。

1991年師匠とともに寄席の初高座。

2002年国立演芸場花形演芸大賞銀賞。

2005年国立演芸場花形演芸大賞金賞。

実父は二代目紙切り林家正楽、実兄は落語家・桂小南。

俳優としても活躍しており、「ちゅらさん4」（2007年）

「妻、小学生になる。」（2002年）などに出演。「昭和元禄落語心中」（2018年）では落語監修を担当し自身も出演している。

生まれて初めて与えられたオモチャがハサミと紙で、紙切りを遊びのひとつとして育つ。「今までの形式にとらわれない新しい紙切りを広めてゆきたい」との抱負を抱いて活躍中。

紙切りと落語のコラボレートによる「紙工落語の会」OHPを使った自身の会「紙切り影絵物語・二楽劇場」などを各地で開催。



林家二楽

【協賛】



砂町銀座商店街振興組合

<https://sunamachi-ginza.com>



公益財団法人
江東区文化コミュニティ財団
心にうるおい、地域にぎわい。
Koto City Culture and Community Foundation

砂町文化センター

都営新宿線「西大島」駅より都営バス都07系統

「門前仲町」行き「北砂二丁目」下車徒歩8分

江東区北砂5-1-7 ☎03-3640-1751

X(Twitter):@sunamachibunka



HPはこちら!